

---@doppeL---

doppeL 「色々あるよね」

すごいですね。どれも素敵です。

doppeL 「これが本物の機械式腕時計ってやつなんだ」

うーん。見るからに高級感が漂ってます。でもはっきり言って一般人には区別が付かないですよ。普通の人が見て本物かどうか分からないじゃないですか。つまり一万円のものをしていても、二十万のものをしていても、本物って分かってくれる人がそんなに居ない以上、する意味あるんでしょうかね。携帯で充分時間は把握できますよね。だったら高級な5万の携帯を買って持っていた方が、かっこよくないですか。

doppeL 「高校生の頃を思い出して欲しいのだけど、君は女子にモテたかったかい」

それなりに。

doppeL 「高校のクラスで女子が半数いるとする。その全員にモテたいと思ったのかい」

とんでもない。分かってくれるあのコに振り向いてもらえさえすれば御の字というか。

doppeL 「だね」

ましてや社会人になったらすると変に目立っても損ばかりだし。できればなるべくさりげなく自分をアピールできたらと・・・あ、だから本物をさりげなくってことツスカ。

doppeL 「分かっている人に自然にしかし強烈にアピールすればいいわけだ」

なるほど。

doppeL 「デザインはもちろん重要だ。自分の好みってものがあるからね。計器が沢山ついていると男子は興奮しやすいよね。コックピットを彷彿とさせるからかも知れない。しかしデザインの他にも機械式の腕時計がアピールする重要な点がひとつある」

なんですか。

doppeL 「なんだと思う」

じらさないで下さいよ。こちらは雑誌記事を読んだくらいの素人だし。分かりませんよ。

doppeL 「チンモクボウエキ」

は、またなんか分かりにくいこと言いませんでした？

doppeL 「腕時計理解のためのキーワードだね。本物を見て眼福にあずかったんだし、そろそろ元のカフェに戻ろうか」

はあ。分かりました。ふらふら。

---@cafe---

doppeL 「電池がなくても機械式腕時計は動く。つまり機械式腕時計はゼンマイと歯車で永久に動くことが前提なんだ」

でも壊れることってありますよね。

doppeL 「もちろんメンテナンスは必要だよ。でもオーバーホールさえきちんとしていけばある意味永久不滅だ」

すごいですね。

doppeL 「感心ばかりしていてもしょうがない。問題はなんだと思う」

え、問題。問題は特にないと思いますが。

doppeL 「君はさっき分かってくれる人がいるとうれしい、と言ったよね。でも他人と同じモデルの時計をしててもイキじゃない。できれば自分の好みによって他人が簡単に所有できないものが欲しいと思わないか」

そうですね。他人とカブったりすると気恥かしいですね。

doppeL 「すると新しいものばかりを追いかけるのもどうかと思うよ。値段も高いし量産されているからね。製造が古いものでデザインが古びないものがないって思わないかい」

それが見つければ最高です。なにが問題なんですか。

doppeL 「古い製造のもので適切にメンテナンスされ、デザインも斬新だとすると、今度はみんなが欲しがるといことだよ」

なるほど。すると価格が上がってくる。

doppeL 「単純な需給バランスの問題なんだ。そしてそのモデルがもう製造されていないかつとしたら」

デッドストック・・・。

doppeL 「その通り。だれもがそんな時計が欲しい。しかしものが少ない」

にもかかわらず、それを現実に行っている人が目の前にいたら・・・。

doppeL 「この人はどうしてこんなにイイ時計をしているのだろう。よっぽど高かったのに違いない。もしくはいいコネクションがあるのだろうか。デザインも素敵でセンスがある。なにか秘密があるに違いない。どんな人なんだろう、という方向に人の関心は向いていく」

かっこいいっすね。そこまでアピールできればその後の会話もスムーズに。

doppeL 「まるで時を刻む音が、そんな会話を誘うように」

なるほどー、バブルを越えて日本経済が底力を見せようとしている現在、本物の価値というものに人々の関心が向き始めて・・・あれ、どこにいったのかな。

なんだか夢を見ていたみたいだ。

それにしても doppeL って何だろう。

そういえば遠くの方から時を刻む音がする。この時計の音の先にはなにがあるんだろう。ふらふら。

doppeL 「ツツキハウエブデ」



www.
doppel
.biz

ケータイ

パソコン

